

<版元ウェブサイトより>

嘘をつくことと、ミスリードして意図的に誤解させることには、倫理的にどんな違いがあるのだろうか。日常会話から政治における嘘や欺瞞、人種差別の発言まで、多くの事例を読み解き、言葉による印象・感情操作のメカニズムを明らかにする。海外メディアで話題となった「犬笛」戦術を分析した論文も収録。政治家や差別主義者が、“暗示的に”バイアスや偏見をあおる巧妙な仕組みを詳らかにする。

【今回の課題図書】

ジェニファー・M・ソール著(小野純一訳)

『言葉はいかに人を欺くか——嘘、ミスリード、犬笛を読み解く』(慶應義塾大学出版会, 2021年)

【著者のプロフィール】

ジェニファー・M・ソール(Jennifer Mather Saul)

1968年生まれ。カナダのウォータールー大学教授、イギリスのシェフィールド大学哲学科名誉教授、Implicit Bias and Philosophy Research Network所長。専門は言語哲学、フェミニズム哲学、心理学の哲学。

巣ごもり読書会

言葉はいかに人を欺くか

嘘、ミスリード、犬笛を読み解く



11.28 Sun 13:30 - 15:00

オンライン開催

◇語り手 小野純一(自治医科大学) 山川仁(自治医科大学) 沼田彩誉子(東洋大学)
◇司会 小野仁美(東京大学)

【登壇者紹介】

◇小野純一(ONO Jun'ichi)

自治医科大学医学部哲学研究室講師。専門は哲学・思想史。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(文学)。訳書に井筒俊彦『言語と呪術』(安藤礼二監訳、慶應義塾大学出版会、2018年)がある。

◇山川仁(YAMAKAWA Masashi)

自治医科大学客員研究員、天理大学非常勤講師、大阪物療大学兼任講師。専門は、西洋哲学。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士(人間・環境学)。著書に、『孤独なバークリー-非物質論と常識』(ナカニシヤ出版、2018年)がある。

◇沼田彩誉子(NUMATA Sayoko)

東洋大学アジア文化研究所客員研究員。専門は移民研究、オーラルヒストリー。早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程修了。博士(人間科学)。主な業績に、「極東生まれのタタル移民2世の移住経験」『日本オーラル・ヒストリー研究15』(2019年)がある。

【参加方法】

ご参加希望の方は登録フォーム(<https://forms.gle/45CNCCiczkyMZUrx9>)またはポスター内のQRコードより必ず前日までにお申し込みください。

※参加用URLはご登録いただいたメールアドレスに当日正午までにお送りします。

【主催】 科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表:長沢 栄治)

【問い合わせ先】 イスラーム・ジェンダー学科研事務局(office@islam-gender.jp)

